

6 米

(1) 国際的な米需給の概要

○2009/10年度の米需給（予測）のポイント

米の供給面では、中国、タイ、等で増産されるものの、インド、バングラデシュ、インドネシア、ベトナムで減産することから、世界の生産量は減産が見込まれている。

需要面では、インドで減少するものの、中国、バングラデシュ、インドネシア、フィリピン、ミャンマー等で消費量が拡大し、世界の消費量は増加が見込まれている。

期末在庫量については、生産量が消費量を下回ることから在庫が取り崩され、期末在庫率も低下すると見込まれる。

【生産量】

生産量は、中国、タイ等で増加するものの、インド、バングラデシュ、インドネシア、ベトナムで減少が見込まれ、世界全体では前年度より12.0百万トン減少（▲2.7%）し、433.7百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.1百万トン上方修正されており、国別には、中国で上方修正され、フィリピン、バングラデシュで下方修正された。

【消費量】

消費量は、インドで減少が見込まれるものの、中国、バングラデシュ、インドネシア、フィリピン、ミャンマー等で増加し、世界全体では前年度より3.2百万トン増加（0.7%）し、438.5百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.5百万トン上方修正されており、国別には、中国で上方修正され、バングラデシュ、インドネシアで下方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より2.0百万トン増加（7.1%）し、29.8百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国ではインド、ベトナムで輸出量の減少が、タイ、中国、パキスタン、エジプト、米国で輸出量の増加が見込まれている。一方、輸入国では、イラクで輸入量の増加が、マレーシア、フィリピンで輸入量の減少が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体では0.5百万トン上方修正され、国別には、輸出についてエジプトで下方修正、ベトナムで上方修正され、輸入についてEUで上方修正された。

【期末在庫量】

期末在庫量は、中国、インドネシア、タイ等で積み増しされるものの、インド、フィリピン、ベトナム、日本で減少が見込まれ、世界全体では前年度より4.8百万トン減少（▲5.3%）し、85.9百万トンとなる見込みであり、期末在庫率は19.6%まで減少する見込みである。

なお、前月からの改訂は、世界全体で1.0百万トン上方修正され、国別には、インドネシア、中国、ベトナム、フィリピンで上方修正された。

表－1 世界の米需給

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	433.4	445.7	433.7	0.1	▲ 2.7
中国	129.9	134.3	136.0	0.9	1.2
インド	96.7	99.2	84.0	-	▲ 15.3
インドネシア	37.0	38.3	37.6	-	▲ 1.8
バングラデシュ	28.8	31.0	30.0	▲ 1.0	▲ 3.2
ベトナム	24.4	24.4	23.8	-	▲ 2.6
タイ	19.3	19.4	20.0	-	3.1
フィリピン	10.5	10.8	10.7	▲ 0.2	▲ 0.4
消 費 量	428.1	435.3	438.5	0.5	0.7
中国	127.5	129.3	132.5	0.7	2.5
インド	90.5	93.2	89.5	-	▲ 3.9
インドネシア	36.4	37.1	37.4	▲ 0.3	0.8
バングラデシュ	30.7	31.0	31.4	▲ 0.4	1.3
ベトナム	19.4	19.2	19.2	-	0.0
フィリピン	13.5	13.7	14.0	-	2.6
ミャンマー	10.2	9.6	9.8	-	2.1
貿 易 量	31.1	27.8	29.8	0.5	7.1
(輸出)					
タイ	10.0	8.5	10.0	-	17.6
ベトナム	4.7	5.7	5.5	0.5	▲ 3.5
インド	4.7	2.0	1.5	-	▲ 25.0
パキスタン	3.0	3.0	3.3	-	10.0
米国	3.4	3.0	3.1	-	2.7
中国	1.0	0.8	1.3	-	62.5
エジプト	0.8	0.3	0.5	▲ 0.1	66.7
(輸入)					
フィリピン	2.6	2.6	2.4	-	▲ 7.7
イラン	1.5	1.7	1.7	-	0.0
ナイジェリア	1.8	1.6	1.6	-	3.7
サウジアラビア	1.0	1.4	1.4	-	0.7
EU-27	1.6	1.4	1.4	0.2	0.0
イラク	1.0	1.0	1.1	-	10.0
マレーシア	0.8	1.0	0.8	-	▲ 18.6
期末在庫量	80.4	90.7	85.9	1.0	▲ 5.3
中国	37.6	42.2	44.8	0.3	6.0
インド	13.0	17.0	10.0	-	▲ 41.2
インドネシア	5.6	7.1	7.6	0.8	7.1
タイ	2.2	3.1	3.5	-	13.1
フィリピン	4.4	4.1	3.2	0.1	▲ 21.7
日本	2.6	2.7	2.6	-	▲ 2.9
ベトナム	2.0	2.1	1.7	0.2	▲ 16.9
期末在庫率	18.8%	20.8%	19.6%	0.2	▲ 1.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、
「PS&D」

(2) 米の主要生産・輸出国等の需給状況

ア 中国

【需給状況】

中国の生産量は、単収は減少するものの、収穫面積が増加すると見込まれていることから、前年度より1.7百万トン増加（1.2%）し、136.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より3.2百万トン増加（2.5%）し、132.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より0.5百万トン増加（62.5%）し1.3百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は2.6百万トン増加（6.0%）し、44.8百万トンとなり期末在庫率も33.4%（1.0ポイント増）に上昇する見込みである。

なお、前月予測からの改訂は、生産量が0.9百万トン、消費量が0.7百万トン上方修正された。この結果、期末在庫量が0.3百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

東北地方、湖南省の一部、湖北省、広西チワン族自治区では、干ばつの被害を受けたものの、稲作への影響は小さい。全般的に見て、早生種の収穫量が増えるのは確実で、中生種、晩生種も生育の後期に自然災害が生じない限り豊作が見込まれる。

【貿易情報等】

中国については、2007年12月に増値税の輸出還付を取り消し、2008年1月から輸出税を賦課していたが、輸出税については2009年7月1日に撤廃された。また、以前より輸出割当許可証管理を行っている。

なお、中国政府は2009年度の作付けを推進させるために500万トンの備蓄を計画していたが、7月下旬から放出を開始した。10月中旬現在、概ね3割以上の落札があり、そのうちジャポニカ米については7割以上の落札率となっている。また、その予定数量に関しては、需給のバランスを保つため、省別に現状に合わせて決められているため、需給のバランスはとれる見込み。

世界の生産量シェア	1位（2009/10年度31.4%）
輸出量シェア	6位（2009/10年度4.4%）

表－2 中国の米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	129.9	134.3	136.0 (133.4)	0.9	1.2
消費量	127.5	129.3	132.5 (127.2)	0.7	2.5
輸出量	1.0	0.8	1.3 (1.2)	-	62.5
輸入量	0.3	0.3	0.4 (0.9)	-	6.1
期末在庫量	37.6	42.2	44.8 (64.0)	0.3	6.0
期末在庫率	29.3%	32.4%	33.4% (49.8%)	0.0	1.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	28.92	29.40	29.80 (…)	-	1.4
単収(t/ha)	6.41	6.53	6.52 (…)	0.04	▲ 0.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、
「World Agricultural Production」

イ インド

【需給状況】

インドの生産量は、モンスーンの降雨の時期の遅れと降水量不足のため、前年度より15.2百万トン減少（▲15.3%）し、84.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より3.7百万トン減少（▲3.9%）し、89.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より0.5百万トン減少（▲25.0%）し、1.5百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は7.0百万トン減少（▲41.2%）し、10.0百万トンとなり、期末在庫率も11.0%（6.9ポイント減）に減少する見込みである。

なお、前月からの改訂は、行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

2009年6月から7月にかけて、モンスーンの降雨の時期が遅れ、降水量が不足したことが、播種と移植にかなりの悪影響を及ぼすとともに、9月下旬の豪雨が米作に被害を与えた。10月16日現在、カリフ米（雨季）の作付面積は、前年同期の39.8百万ヘクタールに対し、32.7百万ヘクタールであった。特にカリフ米の主生産地であるウッタールプラデシュ、アンドラプラデシュでは、2009/10年度の作付面積は、2008/09年度に比べ、それぞれ33.2%、34.7%減少したと見られている。

【貿易情報】

インドについては、非バスマティ米の輸出が禁止されており、現在も継続しているが、非公式に特定の国に一部輸出されていた。なお、種子用の非バスマティ米に限り輸出禁止が2008年9月に解除された。また、米に輸出税を課していたが、2009年1月19日に撤廃された。

（世界の生産量シェア 2位（2009/10年度19.4%）
輸出量シェア 5位（2009/10年度 5.0%））

表－3 インドの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値 (FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率 (%)
生産量	96.7	99.2	84.0 (99.5)	-	▲ 15.3
消費量	90.5	93.2	89.5 (92.6)	-	▲ 3.9
輸出量	4.7	2.0	1.5 (4.0)	-	▲ 25.0
輸入量	0.0	0.0	0.0 (0.1)	-	…
期末在庫量	13.0	17.0	10.0 (18.5)	-	▲ 41.2
期末在庫率	13.7%	17.9%	11.0% (19.2%)	-	▲ 6.9
(参考)					
収穫面積(百万ha)	43.77	44.00	40.00 (…)	-	▲ 9.1
単収(t/ha)	3.31	3.38	3.15 (…)	-	▲ 6.8

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (June 2009)」

ウ インドネシア

【需給状況】

インドネシアの生産量は、単収、及び、収穫面積の減少が見込まれるっており、前年度より0.7百万トン減少（▲1.8%）し、37.6百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.3百万トン増加（0.8%）し、37.4百万トンとなる見込みである。

輸入量は、前年度よりわずかに増加（20.0%）し、0.3百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.5百万トン増加（7.1%）し、7.6百万トンとなり、期末在庫率も20.2%（1.2ポイント増）と上昇する見込みである。

なお、前月からの改訂は、2008/09年度の消費量が0.6百万トン、輸入量が0.1百万トン下方修正されたことにより、2009/10年度の期首在庫が0.5百万トン上方修正されるとともに、消費量が0.3百万トン下方修正された。この結果、期末在庫量が0.8百万トン上方修正された。

【貿易情報】

インドネシアについては、米の純輸入国であり主要な輸出国ではないが、2008年4月11日から輸出を禁止している。しかし、2008年の米の生産が豊作であったことを受け、政府は2009年4～6月に最大10万トンの高品質米の輸出を行うことを決定し、11社に輸出を許可した。なお、2009年7月から輸出は禁止されている。

エ タイ

【需給状況】

タイの生産量は、収穫面積の拡大と単収の増加が見込まれていることから、前年度より0.6百万トン増加（3.1%）し、20.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.7百万トン減少（▲6.7%）し、9.6百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より1.5百万トン増加（17.6%）し、10.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.4百万トン増加（13.1%）し、3.5百万トンとなり、期末在庫率も18.0%（1.4ポイント増）まで回復する見込みである。

なお、前月からの改訂は、行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

農業協同組合省米穀局によると、2009年度乾季作米の作付面積は2.0百万ヘクタールで作付けが行われ、8.4百万トンが収穫されると見込まれており、現在の生育状況は、約0.6%が出穂期、99.4%が収穫済みとなっている。

また、2009/10年度雨季作米については、8.9百万ヘクタールが作付けされており、生育状況は、約7%が播種期、32%が分けつ期、11%が出穂期となっている。なお、目標作付面積は、9.2百万ヘクタールとされている。

【貿易情報等】

2009年7月にタイとベトナムの米輸出団体は、米貿易での協力体制を強め、世界市場での交渉力の強化を目的とした合意書を取り交わした模様。協力内容は、主に生産状況や生産技術情報の交換、輸出条件の共有化等とされている。

〔世界の生産量シェア 3位（2009/10年度 8.7%）〕

表－4 インドネシアの米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）
（単位：百万トン）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	37.0	38.3	37.6 (38.4)	-	▲ 1.8
消費量	36.4	37.1	37.4 (37.7)	▲ 0.3	0.8
輸出量	0.0	0.0	0.0 (0.1)	-	▲ 100.0
輸入量	0.4	0.3	0.3 (0.2)	-	20.0
期末在庫量	5.6	7.1	7.6 (3.4)	0.8	7.1
期末在庫率	15.4%	19.0%	20.2% (9.0%)	2.1	1.2

(参考)

収穫面積(百万ha)	11.90	12.17	12.00 (…)	0.15	▲ 1.4
単収(t/ha)	4.82	4.88	4.86 (…)	▲ 0.06	▲ 0.4

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (June 2009)」

〔世界の生産量シェア 6位（2009/10年度 4.6%）
輸出量シェア 1位（2009/10年度33.5%）〕

表－5 タイの米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

（単位：百万トン）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	19.3	19.4	20.0 (20.6)	-	3.1
消費量	9.6	10.3	9.6 (12.0)	-	▲ 6.7
輸出量	10.0	8.5	10.0 (8.3)	-	17.6
輸入量	0.0	0.3	0.0 (0.2)	-	▲ 96.7
期末在庫量	2.2	3.1	3.5 (4.7)	-	13.1
期末在庫率	11.3%	16.6%	18.0% (23.2%)	-	1.4

(参考)

収穫面積(百万ha)	10.60	10.68	10.72 (…)	-	0.4
単収(t/ha)	2.76	2.75	2.83 (…)	-	2.9

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (June 2009)」

オ ベトナム

【需給状況】

ベトナムの生産量は、単収及び作付面積が昨年度より減少すると見込まれることから前年度より0.6百万トン減少（▲2.6%）し23.8百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度並の19.2百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より0.2百万トン減少（▲3.5%）し、5.5百万トンとなる見込みである。一方輸入量は前年度並の0.5百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は1.7百万トンとなり、期末在庫率も7.1%（1.4ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月からの改訂は、2008/09年度の実産量が0.7百万トン上方修正されたことから、2009/10年度の期首在庫が0.7百万トン上方修正されるとともに、輸出量が0.5百万トン上方修正された。この結果、期末在庫量が0.2百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

秋稲単期作の2009年の作付面積は、一部で夏秋作への転向が行われたことにより若干の減少が予想されるものの、単収の向上が見込まれているため生産量は増加するとみられる。現在生育は順調で、2009年の生産量は、2008年よりも0.1百万トン多い9.1百万トンになると予想されている。

夏秋作の作付け面積は、7.3百万ヘクタールで、単収は1ヘクタールあたり4.78トン、生産量は11.3百万トンと推定されている。収穫済み面積は、1.8百万ヘクタールで作付面積の76.2%に達している。

なお、そのうちメコン川デルタ地帯では1.5百万ヘクタールで収穫が終了している。

【貿易情報等】

ベトナムについては、政府契約以外の輸出業者による新規輸出契約を停止していたが、2008年6月13日からこれを解除した。また、2008年8月15日からは、一定基準の輸出価格を超えた場合に輸出税が賦課されていたが、2008年12月19日に課税が停止された。

なお、2009年7月にベトナムとタイの米輸出団体は、米貿易での協力体制を強め、世界市場での交渉力の強化を目的とした合意書を取り交わした模様。協力内容は、主に生産状況や生産技術情報の交換、輸出条件の共有化等とされている。

カ フィリピン

【需給状況】

フィリピンの生産量は、単収が増加すると見込まれているものの、収穫面積の減少が見込まれていることから、前年度より0.1百万トン減少（▲0.4%）し、10.7百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.3百万トン増加（2.6%）し、14.0百万トンとなる見込みである。

輸入量は、前年度より0.2百万トン減少（▲7.7%）し、2.4百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.9百万トン減少（▲21.7%）し、3.2百万トンとなり、期末在庫率も23.0%（7.2ポイント減）と低下する見込みである。なお、前月からの改訂は、2008/09年度の輸入量が0.3百万トン上方修正されたことから、2009/10年度の期首在庫が0.3百万トン上方修正されるとともに、生産量が0.2百万トン下方修正された。この結果、期末在庫量が0.1百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

9月下旬から同国を襲った台風16号、17号の冠水等の被害により、収穫面積が0.1百万ヘクタール減少した。

（世界の生産量シェア 5位（2009/10年度 5.5%）
輸出量シェア 2位（2009/10年度18.5%））

表－6 ベトナムの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	24.4	24.4	23.8 (26.0)	-	▲ 2.6
消費量	19.4	19.2	19.2 (20.5)	-	0.0
輸出量	4.7	5.7	5.5 (5.0)	0.5	▲ 3.5
輸入量	0.3	0.5	0.5 (0.2)	-	0.0
期末在庫量	2.0	2.1	1.7 (4.8)	0.2	▲ 16.9
期末在庫率	8.4%	8.4%	7.1% (18.8%)	0.8	▲ 1.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	7.41	7.39	7.29 (…)	-	▲ 1.4
単収(t/ha)	4.98	5.01	4.95 (…)	-	▲ 1.2

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、
「World Agricultural Production」、
FAO 「Food Outlook (June 2009)」

（世界の生産量シェア 7位（2009/10年度 2.5%）
輸入量シェア 1位（2009/10年度 8.1%））

表－7 フィリピンの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	10.5	10.8	10.7 (11.3)	▲ 0.2	▲ 0.4
消費量	13.5	13.7	14.0 (13.5)	-	2.6
輸出量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
輸入量	2.6	2.6	2.4 (2.4)	-	▲ 7.7
期末在庫量	4.4	4.1	3.2 (2.1)	0.1	▲ 21.7
期末在庫率	32.7%	30.2%	23.0% (…)	1.0	▲ 7.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	4.35	4.53	4.45 (…)	▲ 0.05	▲ 1.8
単収(t/ha)	3.83	3.77	3.82 (…)	▲ 0.01	1.3

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、
「World Agricultural Production」、
FAO 「Food Outlook (June 2009)」

キ 米国

【需給状況】

米国の生産量は、前年度より0.6百万トン増加（8.3%）し、7.1百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度並の4.1百万トン（1.0%）となる見込みである。

輸出量は、0.1百万トン増加（2.7%）し、3.1百万トンとなる見込みである。一方、輸入量は、前年度より0.1百万トン増加（9.8%）し、0.7百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.5百万トン増加（53.0%）し、1.5百万トンとなり、期末在庫率も20.7%（6.9ポイント増）と上昇する見込みである。

なお、前月からの改訂は、生産量が0.1百万トン上方修正されたことにより、期末在庫量が0.1百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

生産量の増加は主に中粒種によるものである。

収穫作業は、春の作付けが遅れたことから、アーカンソー州、ミシシッピ州ミズーリ州で大幅に遅れている。

〔世界の輸出货量シェア 4位（2009/10年度 10.3%）〕

表－8 米国の米需給（市場年度：8月～翌年7月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	6.3	6.5	7.1 (7.2)	0.1	8.3
消費量	4.1	4.1	4.1 (4.3)	-	1.0
輸 出 量	3.4	3.0	3.1 (3.1)	-	2.7
輸 入 量	0.8	0.6	0.7 (0.7)	-	9.8
期末在庫量	0.9	1.0	1.5 (0.7)	0.1	53.0
期末在庫率	12.7%	13.7%	20.7% (9.5%)	1.2	6.9
(参考)					
収穫面積(百万ha)	1.11	1.20	1.26 (…)	0.01	5.0
単収(t/ha)	8.09	7.68	7.98 (…)	0.08	3.9

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (June 2009)」

○ 米国の米の生育進捗状況及び作柄（10月25日現在）

〔生育進捗状況〕

収穫率 85% （平年差：▲11p 前年差：9p）

〔作柄 主要6州〕

		単位：%				
		優良	良	普通	不良	極不良
米	2009/10	18	42	28	8	4
	前年度同時	18	44	25	11	2
	前年度最終	18	43	26	11	2

注：優良-Excellent、良-Good、普通-Fair、不良-Poor、極不良-Very Poor

資料：USDA 「Crop Progress」

注：生育進捗状況の（ ）内は同時期の平年値（過去5年）及び前年同時期との比較である。

作柄は、10月5日報告のデータである。